

平成28年度 障害者施策推進協議会 委員質問・意見一覧
 【資料1】熊本市障がい者プランに関する施策の実施状況等について

ページ	分野別 施策	施策の 方向性	具体的な 取組	意見・質問	回答	担当課	
①	1	1	1	① 広報・啓発活動の推進	<p>今年4月2日の「世界自閉症啓発デー」及び4月2日～8日までの「発達障がい啓発週間」において、熊本市障がい保健福祉課も一員に加わり、初めて「実行委員」を組織して、様々な啓発イベントを実施したことを明記していただきたい。</p>	<p>世界自閉症啓発デー・発達障がい啓発週間inくまもと実行委員会に加わり各イベントの企画運営に参加した。</p> <p>(広報)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設への啓発ポスターの掲示(小中高校、育成クラブ、幼稚園、保育園、市役所関係各課窓口等) ・熊本市HPへの掲載 <p>(啓発イベント内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発パレード ・アールブリュット移動美術館 ・発達障がい講演会、啓発映画上映会 ・自閉症協会ブルーハート展示、啓発掲示 ・めだかパネル展示 ・リルビットと熊本電鉄とのジョイントイベント 等 	障がい保健福祉課
②	3	1	2	① 職員等への啓発	<p>施策の方向性に「学校教育や職場研修での啓発」と掲げているが、なぜ市職員だけなのか。学校内の教職員にも、同様の研修を実施することを強く望む。また、実施しているのであれば明記するべき。</p>	<p>小中学校の特別支援学級及び通級指導教室担当教員が全て参加する研修を年1回実施しており、今年度は研修内容の一つとして、障害者差別解消法について周知を図った。</p>	教育委員会 総合支援課
③	6	2	2	④ 発達障がい者支援センターによる相談支援	<p>課題として「設置当初の見込を大きく上回っており」との認識があるにもかかわらず、H28年度の予算がH27年度決算と同じなのはなぜか。 対策を講じる予定はないのか。</p>	<p>発達障がい者支援センター予算は、平成26年12月議会の議決を経てH26年度～H29年度までの債務負担行為(H26年度は0債務)として確定している。これにより、H27年度～H29年度は同額で契約締結しているため、H28年度の予算とH27年度決算は同額であった。 ご指摘のとおり、今後も相談支援数の増加が見込まれるため、次期契約に向け、対策について検討していきたい。</p>	子ども発達支援センター

	ページ	分野別 施策	施策の 方向性	具体的な 取組	意見・質問	回答	担当課																		
④	7	2	3	②	障がい児保育の充実 H27年度の実績として公立保育園、私立保育園(あるいは幼稚園)で受け入れている障がい児の実績はどれくらいか？ 「障がい児の数が年々増加傾向」とあるが、上記保育園等で受け入れている障がい児の数値的な推移が分かれば知りたい。	<p>H27年度の各保育施設の障がい児保育の実施状況としては、公立20園中 20園で実施し、140人の受入れ、私立135園中 97園で実施し、194人の受入れ、計 155園中 117園で実施し、334人の受入れ状況となっている。</p> <p>年度推計については、グラフを参照</p> <table border="1"> <caption>年度推計の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>公立保育所</th> <th>私立保育所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23°</td> <td>110</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>H24°</td> <td>140</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>H25°</td> <td>160</td> <td>210</td> </tr> <tr> <td>H26°</td> <td>150</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>H27°</td> <td>140</td> <td>190</td> </tr> </tbody> </table>	年度	公立保育所	私立保育所	H23°	110	190	H24°	140	200	H25°	160	210	H26°	150	200	H27°	140	190	保育幼稚園課
年度	公立保育所	私立保育所																							
H23°	110	190																							
H24°	140	200																							
H25°	160	210																							
H26°	150	200																							
H27°	140	190																							
⑤	7	2	3	③	家族支援の充実 放課後等デイサービス事業について「療育内容を注視し」「質の確保を図る」としているが、どのような取組をしてどのような改善目標を立てているのか、具体的な内容を明記してほしい。	<p>新規の事業所指定の相談の際に、療育プログラムや計画を確認している。</p> <p>また実地指導において、指導訓練室を見学し、個別支援計画を見せていただき、一人一人に応じた適切な支援について助言を行っている。</p>	障がい保健福祉課																		
⑥	7	2	3	③	家族支援の充実 H27年度の放課後等デイサービス事業所の指定が26箇所となっており、28年度の取組でも指定数を増やす。また、短期入所事業所の指定を勧奨するとなっているが、医療的ケアあるいは重心の子どもが利用できる事業所が充足していないと聞く。数のみならず、個別ニーズに対応できる事業所の指定や勧奨について、具体的取り組み予定があれば教えてほしい。	<p>医療型短期入所の事業者の新規参入を促進することを目的に、新たに指定を受けた医療型短期入所事業所(診療所)に対し、規定の人員を超える職員配置をしている場合、人件費の1/2を助成する事業を実施している。(事業開始後3年間、1事業所の年間上限額は3,000千円)</p>	障がい保健福祉課																		

	ページ	分野別 施策	施策の 方向性	具体的な 取組	意見・質問	回答	担当課
⑦	15	3	2	⑤	二次障がいの予防 二次障がいを起こす素因として、学齢期における学校や放課後の過ごし方が極めて大きな問題を抱えていると考える。H28年度取組予定に挙げられた内容に加えて、教職員や支援員等の更なる専門性の向上、および学校と福祉、医療との徹底した連携を明記していただきたい。	学級支援員の専門性の向上のため年5回の支援員研修会を実施している。学校においては、各学校のニーズに応じて福祉や医療等の専門家を講師として招き、特別支援教育に関する研修を行う「特別支援教育研修」を実施している。	教育委員会 総合支援課
⑧	19	4	3	②	地域ぐるみの防犯・防災体制の整備 「平時からの」とあるが、具体的にどのような取組を想定しているのか、明記していただきたい。 自治会や民生・児童委員等の協力は確実に取れるのか。そこが不明では施策になり得ない。	要援護者を取り込んだ地域における災害訓練の実施や、要援護者の地域支援者による見守り活動を想定。 自治会や民生委員・児童委員等の地域支援者には、熊本市社会福祉協議会を通じて本制度の説明を行っており、今後も継続して協力を求めていく。	健康福祉政策課
⑨	20	4	3	⑦	福祉避難所の拡充 以前より要望している、特別支援学校の福祉避難所指定について、今度こそ確実にできるよう協議してほしい。	福祉避難所の拡充を図るなかで特別支援学校は重要な施設であると認識しており、協定締結に向けた協議を進めていく。	健康福祉政策課
⑩					障がい児支援全般 「総合支援法施行3年後の見直し等」において、居宅訪問型児童発達支援および保育所等訪問支援の対象の拡大などが障がい児支援のニーズへの多様化への対応の視点から明確に示されている。 ここで、大きな役割を担う機関として、児童発達支援センターが想定されているようであるが、現在熊本市には3箇所。熊本市でもこの機能を担う機関として想定しているのであれば、数的・地域的な配置については今後、どのような計画があるのか？あるいは、各児童発達支援ルームがこの機能を担うことになるのか。	「総合支援法施行3年後の見直し等」では、障害児のサービスに係る提供体制の計画的な構築を推進するため、障害児福祉計画の策定が義務付けられることとなり、現在、厚生労働省の「社会保障審議会・障害者部会」において検討されているが、障害児福祉計画において重層的な地域支援体制の構築を目指すための児童発達支援センターの設置及び保育所等訪問支援の充実等について、成果目標を設定することが考えられているところ。 このような、国の動向も踏まえ、またご意見を頂きながら、来年度第5期の熊本市障がい福祉計画を策定する予定。	障がい保健福祉課